

ISSN 0918-936X

# Neuroimmunology

神経免疫学

第28回  
日本神経免疫学会学術集会  
抄録集

会長／中村 龍文  
2016・長崎

VOL.21 NO.1 2016

Official Journal of Japanese Society for Neuroimmunology

# 第28回 日本神経免疫学会学術集会 日程表

## 第1日 9月29日(木)

	第1会場 (2F 大ホール)	第2会場 (3F 国際会議場)	第3会場 (2F リハーサル室)	第4会場 (3F 会議室1・2・3)	ポスター会場 (2F 練習室1・2)
8:00				8:20~8:50 <b>評議員会</b>	
9:00	<b>開会の辞</b>				
9:00	8:50~9:00 9:00~11:30				
10:00	<b>シンポジウム1</b> 「神経免疫学のこれから」に向けて取り組むべき課題 座長：大原 義明 朝倉 邦彦 演者：吉良 潤一 楠 進 桑原 聡 出雲 周二 槍沢 公明				10:30~13:00
11:00					
12:00		11:40~12:30 <b>ランチョンセミナー1</b> 座長：吉良 潤一 演者：Eva Havrdova 共催：バイオジェン・ジャパン株式会社	11:40~12:30 <b>ランチョンセミナー2</b> 座長：本村 政勝 演者：吉川 弘明 共催：アステラス製薬株式会社	11:40~12:30 <b>ランチョンセミナー3</b> 座長：田中 章景 演者：神田 隆 共催：田辺三菱製薬株式会社	<b>ポスター貼付</b>
13:00	12:40~13:40 <b>特別講演1</b> 座長：齊藤 峰輝 演者：Charles R.M. Bangham				13:00~19:00
14:00	13:45~15:10 <b>学会賞受賞候補セッション</b> 座長：菊地 誠志 中村 龍文				
15:00					
16:00	15:15~17:15 <b>シンポジウム2</b> 病因論的自己抗体論 座長：中根 俊成 犬塚 貴 演者：中根 俊成 岸 裕幸 荒瀬 尚 中島 一郎 樋口 理	15:15~16:20 <b>ワークショップ1</b> MS治療 座長：新野 正明 野村 恭一	15:15~16:20 <b>ワークショップ3</b> 臨床ケース 座長：松井 尚子 雪竹 基弘	15:15~16:15 <b>教育講演1</b> MG 座長：槍沢 公明 演者：高守 正治	<b>ポスター閲覧</b> (評価)
17:00		16:25~17:20 <b>ワークショップ2</b> 脳炎 座長：河内 泉 米田 誠	16:25~17:20 <b>ワークショップ4</b> 実験モデル 座長：大木 伸司 山中 宏二	16:20~17:20 <b>教育講演2</b> PMDA 座長：佐藤 克也 演者：山本 弘史	
18:00		17:25~18:25 <b>イブニングセミナー</b> 座長：近藤 誉之 演者：高橋 和也 共催：武田薬品工業株式会社	17:25~18:25 <b>共催教育セミナー</b> 座長：錫村 明生 演者：Pei Ran Ho Harold Koendgen 共催：バイオジェン・ジャパン株式会社	17:25~18:25 <b>CENI Author Seminar</b> 座長・演者： 吉良 潤一 神田 隆	
19:00	開場：18:30 開始：19:30	<b>情報交換会 (グラバー園)</b>			
		※17:00~18:00はグラバー園に入場できません。			

第28回 日本神経免疫学会学術集会 日程表

第2日 9月30日(金)

第2会場 (3F 国際会議場)	第3会場 (2F リハーサル室)	第4会場 (3F 会議室1・2・3)	ホスタター会場 (2F 練習室1・2)
8:00~9:00	8:00~9:00	8:00~9:00	
モーニングセミナー1 演者：永島良樹 共催：サームリック・サイエンス 共催：チクワック株式会社	モーニングセミナー2 演者：折口智樹 共催：折口智樹	モーニングセミナー3 演者：折口智樹 共催：折口智樹	
9:10~10:05	9:10~10:05	9:10~10:05	
シンポジウム3 MG・アセチルコリン受容体関連疾患 座長：村井弘之 鈴木重明	シンポジウム5 筋・神経筋・末梢神経 座長：古賀道明 吉川弘明	シンポジウム10 筋・神経筋・末梢神経 座長：古賀道明 吉川弘明	
10:10~10:55	10:10~10:55	10:10~10:55	10:00~14:30
ワークショップ6 MS基礎1 座長：越智博文 近藤誉之	ワークショップ11 HAM 座長：竹之内徳博 齊藤峰輝	ワークショップ12 免疫と神経疾患1 座長：山田正仁 佐藤準一	ホスタター閲覧 (評価)
11:00~11:40	11:00~11:40	11:00~11:45	
ワークショップ7 MS基礎2 座長：中辻裕司 雷岳亮	ワークショップ17 免疫と神経疾患1 座長：山田正仁 佐藤準一	特別講演2 座長：古良潤一 演者：篠原眞理	
13:00~13:50	13:00~13:50	13:00~13:50	
ワークショップ4 ラフセッション 座長：神田隆 演者：神田隆 共催：武田薬品工業株式会社	ワークショップ5 ラフセッション 座長：村井弘之 演者：川口直樹 共催：一般社団法人日本血液製剤機構	ワークショップ6 ラフセッション 座長：横山和正 演者：笠原 敬 共催：ノリクス・エフエム株式会社	
14:00~14:30	14:00~14:30	14:00~14:30	
総会			
14:30~15:15	14:30~15:15	14:30~15:30	
ワークショップ8 NMO 座長：三須建郎 森 雅裕	ワークショップ3 動物モデル 座長：松井 真 演者：宮本 勝一 飯島 正博	ワークショップ9 動物モデル 座長：松尾 秀徳 昌星 演者：本村 政勝 高 昌星	自由討論
15:20~16:05	15:20~16:05	15:30~16:30	15:30~16:30
ワークショップ9 末梢神経 座長：清水 潤 小池 春樹	ワークショップ4 動物モデル 座長：松尾 秀徳 昌星 演者：本村 政勝 高 昌星	ワークショップ13 免疫と神経疾患2 座長：原 英夫 松浦 英治	ホスタター閲覧
16:35~17:15	16:35~17:05	16:35~17:05	16:30~
ワークショップ13 免疫と神経疾患2 座長：原 英夫 松浦 英治	ワークショップ11 免疫と神経疾患2 座長：中嶋 秀樹	ワークショップ12 免疫と神経疾患2 座長：三條 伸夫	ホスタター撤去
17:15~			
表彰・閉会			
18:00			
19:00			

- WS-28** 免疫チェックポイント阻害薬に関連して発症した重症筋無力症6例の臨床的特徴  
熊本大学 医学部 生命科学研究部 脳神経科学講座  
神経内科学分野 高松 孝太郎……115
- WS-29** 全身型重症筋無力症に対する早期積極治療戦略の有効性  
総合花巻病院 神経内科 檜 沢 公 明……116
- WS-30** 難治性の抗アセチルコリン受容体抗体陽性重症筋無力症に対する rituximab の使用経験  
徳島大学病院 神経内科 武 藤 浩 平……116
- WS-31** 体位性頻脈症候群患者の自己免疫機序を検討する  
熊本大学 医学部附属病院 神経内科 渡 利 茉 里……117
- WS-32** 自己免疫性自律神経節障害における MIBG 心筋シンチグラフィの有用性の検討  
熊本大学 神経内科 向 野 晃 弘……117

**ワークショップ 6****第2日目 9月30日(金) 10:10~10:55**

第3会場 (2F リハーサル室)

**MS基礎 1**

座長：愛媛大学大学院医学系研究科 老年・神経・総合診療内科学 越 智 博 文  
京都大学附属病院 地域ネットワーク医療部 近 藤 誉 之

- WS-33** IFN $\gamma$ はミクログリアにIL-1 $\beta$ /TNF $\alpha$ を産生させてアストロサイトコネキシン43発現を低下させる  
九州大学大学院 医学研究院 神経内科学 渡 邊 充……118
- WS-34** I型インターフェロンによるBAFF誘導機構の研究  
北海道医療センター 臨床研究部 宮 崎 雄 生……118
- WS-35** 多発性硬化症ではエクソソームが制御性T細胞を抑制する  
国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 免疫研究部 木 村 公 俊……119
- WS-36** 多発性硬化症患者によるCD40/TLR4刺激における炎症性および制御性サイトカイン産生パターン  
京都大学大学院医学研究科 臨床神経学 岡 田 洋一郎……119
- WS-37** 進行型多発性硬化症モデルでは血管接着分子の発現増加、BBB/リンパ管分子の発現減少が病因に相関する  
近畿大学 医学部 微生物学講座 尾 村 誠 一……120

**WS-37** 進行型多発性硬化症モデルでは血管接着分子の発現増加、BBB/リンパ管分子の発現減少が病因に  
相関する

尾村 誠一<sup>1,2)</sup>、佐藤 文孝<sup>1,2)</sup>、Alexander J. Steven<sup>2)</sup>、Kilgore Phillip C.S.R.<sup>2)</sup>、Cvek Urska<sup>2)</sup>、  
Trutschl Marjan<sup>2)</sup>、角田 郁生<sup>1,2)</sup>  
近畿大学 医学部 微生物学講座<sup>1)</sup>、レイジアナ州立大学<sup>2)</sup>

多発性硬化症 (multiple sclerosis, MS) は中枢神経系 (central nervous system, CNS) における炎症性脱髄疾患であるが、その一方で血管接着分子の発現がMSの病勢と関連することが証明されているため、血管疾患としても提唱されている。近年、我々は再発寛解型MSと二次進行型MSにおける血清リンパ管マーカー発現の相違について報告した。また、LouveauらはCNS中のリンパ管の存在を提唱した。理論的には、血管接着分子の発現増加と血液脳関門 (blood-brain barrier, BBB) 関連分子の発現減少はCNSへの細胞浸潤に関与し、リンパ管はCNSからの細胞排出に関与する。MSの発症要因は不明であるが、ウイルス感染がその要因の一つと考えられている。MSのウイルスモデルとしてはタイラーウイルス誘導性脱髄疾患 (Theiler's murine encephalomyelitis virus-induced demyelinating disease, TMEV-IDD) が用いられている。本研究では、TMEV-IDDへの血管、BBB、リンパ管マーカー分子の関与を明らかにすることを目的として、RNAシーケンシング (RNA-seq) を行った。ICAM-1、VCAM-1等の血管接着分子や、LFA-1、VLA-4等のT細胞上のリガンド分子の発現が、TMEV-IDDの脊髄において有意に増加していることを見出した。これらの分子のRNA-seqデータを用いた主成分分析 (PCA) により、血管接着分子の発現増加及びBBB関連分子の発現減少は、CNSへのリンパ球浸潤に繋がることが示唆され、またリンパ管マーカー分子の発現減少は、リンパ管の機能障害、ひいては炎症細胞の停滞、炎症の慢性化に繋がることが示唆された。